

# リポートニュース

令和7年2月号 NO.273

年末年始の営業休みが9日間も続いたことで新年の休み明けは、ネット上で落札された商品の点数が予想以上の量になりましたが、商品管理課をはじめ関係部門の担当スタッフの協力のもとで運送便の集荷締め切時間にまでにはすべての商品の出荷が終わりました。フロントでの出荷伝票・送り状の作成から落札商品の品出し、梱包まで混乱なく円滑に進んだ背景には、生産部の日頃の在庫管理運営による成果と思われます。日々の小さなカイゼンを積み上げて出来たシステムのおかげで、初荷の一日の作業を無事終了することができました。リノベートパーツの利便性は、第一に品質維持・向上にあります。決められた日に落札した商品がきちっと届けられることも重要な点と認識しています。さらなる高みを目指して努力してゆきますので愛顧のほどよろしくおねがいします。

## 豆知識 ダイハツ タントカスタム LA650 (2WD)、LA660 (4WD) 年代によるフードガーニッシュの相違点

前期 R1.7~R4.9	下部にメッキラインが入るデザイン
後期 R4.9~	上部と中央部にメッキラインが入る



前期



後期

## 豆知識 日産 サクラ B6AW R4.5~ グレードによるヘッドライトの相違点

グレード	相違点
「X」	アダプティブ無し LED ライト 刻印「T」 レンズ番号: 100-2378H
「G」	アダプティブ有り LED ライト 刻印「X」 レンズ番号: 100-2378J



サクラ



「X」



「G」

## 豆知識 トヨタ アタワ MXP10,11(2WD)、MXP15,16(4WD) R3.7~ グレードによるテールランプの相違点

グレード	相違点
G・X・B 専用	中央のクリア部分がウインカー 下部の四角がストップランプ
Z 専用	中央の赤い部分がライン発光して、ボディションランプとストップランプになる

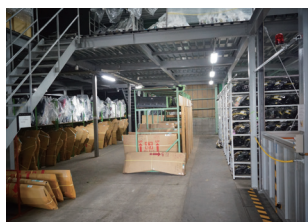


G・X・B 専用



X 専用

## 倉庫内の整理整頓が進んでいます。その4



補修済みの商品は、撮影・登録を済ませ後は所定の場所に保管します。通常、入庫検品から3日以内で情報公開になりますが、修理期限が迫っているBS様から入荷コアの予約を受けている場合は、検品が終わるまで第1入荷連絡を済ませ、発送準備に取り掛かります。このときの商品程度は、通常基準の範囲になりますので特に画像などの配信はしません。日々の取引を間違いなく進めるためには、生産部と商品管理部の密接な連携で、在庫の入出庫を管理する必要があり、常に倉庫内の整理整頓に努めています。

## 冬用のツナギです。

秋口に配布された冬専用のツナギでしたが、暖かい日々が続いたために切り替えるタイミングを逃してきました。12月に入ってやっと着用するほどの寒さがやってきました。これまでの「白のツナギ」一辺倒からカラフルなツナギを採用する事となり、作業者の気分転換にもつながっているようです。



## R6 年間カイゼン数 集計

今年度のカイゼン総数40件の内訳は「労務の無駄」のカイゼン19件、「品質・売上アップ」関連カイゼン11件、「環境・安全衛生」につながるカイゼン10件でした。

### 社長賞に輝いたカイゼン紹介：商品管理課・梱包班

改善前：大型ライトやグリルなど160サイズ以上の梱包物は、ヤマト便の集荷外になるため、個人宅の配送は西濃・福山の支店止めとなり不便を強いられていた。地域により中継料も発生、運送料が割高になっていた。

改善後：ヤマト便の運賃表に180/200サイズが新設されたのを機に運賃交渉を重ね、個人宅への直送ができるようになった。

効果：個人宅に届けられるアイテム数も増え顧客獲得につながった。また中継料もなくなり運賃負担が軽減された。



## ヘッドライト 入荷検品作業のカイゼン

ヘッドライトの入荷検品は、コアの欠損や傷の有無を見極める作業の為、ベテラン作業者が担当しています。ここでの効率アップは日々の生産活動に影響するために改善を重ねてきました。

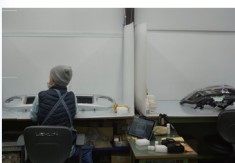
改善前：ヘッドライト置場は、前日の夜に荷下ろししたもの、当日降ろしたもの、取付などの補修を必要とするものなどを漫然と山分けして置かれていました。そのため、当日分の荷下ろしが終わった後から検品が始めるために検品残しが発生していた。

改善後：前日降ろし分、当日分、補修品等の区分スペースを拡張し、前日降ろし分から待機せずに検品作業ができる体制を整えた。

効果：検品に11時近くまでかかっていた作業が、開始時間が早まり、時間短縮に繋がった。



## 画像配信の重要性

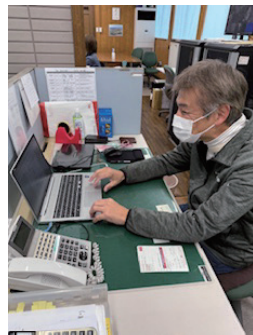


リサイクル部品の在庫問合せに電話・FAXが主流であったころは、在庫の豊富さがお客様の満足度を高める要因でした。ネット販売が主流となると品質の良し悪しを判別する情報量の多さが、顧客満足度の主流となりました。そのため、画像が「部品形状の確認」とどまらず「在庫部品の現状を伝えるツール」として重要性を増しました。

お客様が知りたい部品情報をどこまで画像で伝えられるかがキーポイントになっています。リノベートパーツは正確な情報配信を心掛けて写真撮影に向っています。

## 永年勤続表彰

資材部の矢部課長が勤続35年の表彰を受けました。若干19才で入社、当時稼ぎ頭であったバンパー補修部門に配属されました。この間、手先が器用なことが見込まれ、当時課題であったヘッドライトの補修を試行錯誤の末に補修方法を確立し、ライト課新設に貢献しました。このあと钣金課に移り、钣金作業の技術アップと効率化にも携わりました。当社の生産活動のすべての分野に精通した社員としては、青木統括部長に次ぐ人材です。現在は、これまでの生産技術を生かし「コア」の仕入れ営業を担当しています。



## 「ハンノキの切株は残った」

1976年 当社は創業時の越谷市から岩槻に拠点を移した。その当時からハンノキがそこにあった。それから50年以上の月日が流れて、手に負えない大木に育ってしまった。今回、電線に危害を与える恐れがあるので、伐採されることになった。その昔、ハンノキは、水に浸っても育つため、水田の脇に並木状に植えて稲掛け（はざ架け）の梁につかわれた。「ハリノキ（梁の木）」と呼ばれ活用されていた。このハンノキの大木は運よく道路の拡幅予定地で取り残され、今日まで生き延びたのであった。

